

四谷大塚	4年							
	算数							
学習内容	7月の学習内容 18回『一方におきかえて解く問題』 19回『立方体と直方体の性質』 20回『総合（予習シリーズ4年㊥ 第16回～第19回）』 夏期講習 1学期の復習内容+2学期の予習+数え方・調べ方など							
家庭学習 ポイント	18回『一方におきかえて解く問題』ではつるかめ算を学習します。表に書いて解く、色で計算して解く、面積図を書くなどいくつかの開放がありますが、「1本に置き換える」と言う表題通りの考え方を忘れてはいけません。つるかめ算には 生和バリエーションがありますが、基本は上記の通り「もしも全てが一方だったら」と言う考え方から出発します。19回「立方体と直方体の性質」では立体の見取り図や展開図、それぞれの立体の性質等について学習します。20回の「総合」をはさんで夏期講習に突入します。改訂された四谷大塚のカリキュラムでの夏期講習では、講習会でしか習わない単元や9月以降の予習を含み、8月には「8月特訓」があるなどかなり大変な内容となっています。これまでの「復習中心」の夏季講習ではないということを前提に準備を進める必要があります。							
課題の把握と解決策	チェック1	つるかめ算を考える際は常に「もしも全てが一方だったら」を出発点としていますか？						チェック
	解決策	ここがあやふやだと応用問題に対応できなくなります						□
	チェック2	立方体や直方体の辺や面の垂直、平行を正しく答えられますか？						チェック
	解決策	展開図が示されている場合は、見取り図にして考えていきましょう						□
	チェック3	夏期講習でしか学習しない内容を把握できていますか？						チェック
	解決策	普段のカリキュラムと夏期講習のカリキュラムを、あらかじめ合わせて見ておくようにしましょう						□
	チェック4	差集め算の「差の集まり」をしっかりと理解できていますか？						チェック
	解決策	一つ一つの違いは小さくても、それが集まって大きな差となるという考え方です						□
	チェック5	夏期講習では復習のサイクルが普段の約2倍になることを理解していますか？						チェック
	解決策	夏期講習がある期間の1日の過ごし方をシミュレーションしておきましょう						□
四谷大塚	4年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 18回 説明文・論説文（7）/要旨① 文章符号の使い方/特別な読みの言葉 19回 説明文・論説文（8）/要旨② 原稿用紙の使い方・作文を書く/ 四季の言葉（春・夏） 20回『総合（予習シリーズ4年㊥ 第16回～第19回）』 夏期講習 物語・小説・説明文・説明文・論説文・比喩・記述問題など							
家庭学習 ポイント	18回、19回はは説明文・論説文について学習します。説明文・論説文の読解では、筆者の最も言いたいこと＝「論旨」をしっかりと読み取ることが最大のポイントになります。まずは「～に違いない」「～と考えられる」といった言い切りの表現など、手がかりになる言葉に注目して読み取ることが大切です。要旨は筆者のもっとも伝えたいことですから、文章の冒頭または最後に述べられていることが多いということも覚えておきましょう。読解以外の知識事項では文章符号の使い方、原稿用紙の使い方、四季の言葉（春・夏）などについて学習します。特に高学年で読解が苦手になるお子さんに共通する特徴として、語彙の少なさがありますから、4年生の時期からしっかり身につけるための勉強法を習得しておきましょう。夏期講習会は16日（8月上旬まで）、8月後半は必修の「8月特訓」と、忙しい毎日になります。							
課題の把握と解決策	チェック1	論説文や説明文の「論旨」が読み取れていますか？						チェック
	解決策	特別な言い切りの言葉などに注目して読んでみましょう						□
	チェック2	原稿用紙の使い方を正しく理解していますか？						チェック
	解決策	19回で詳しく習います。しっかりと身につけてしまいましょう						□
	チェック3	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？						チェック
	解決策	夏休みは語彙を増やすチャンスもあります。計画を立てましょう						□
	チェック4	夏休みのカレンダーをチェックして予定を立て始めていますか？						チェック
	解決策	かなり忙しい夏になります。家庭学習のサイクルが崩れないよう注意しましょう						□
	チェック5	テストの記述問題がついつい空白になっていませんか？						チェック
	解決策	夏期講習の授業でも扱われますが、とにかくまず何かを書いてみる、からのスタートです						□

四谷大塚	4年							
	理科							
学習内容	7月の学習内容 18回 星座の動き 19回 動物 20回『総合（予習シリーズ4年㊤ 第16回～第19回）』 夏期講習 もののあたたまり方・光の進み方・星座の1日（1年）の動き など							
家庭学習ポイント	18回「星座の動き」では主な星座についての知識を学んだ17回から引き続き、その動きについて学習します。星座が天球上を1日に1回転する見かけの運動を「日周運動」、1年に1回転する見かけの運動を「年周運動」といいますが、この2つの運動について理解を深め「●か月後の■時にはどのあたりに見えるか」を図示や計算などで求める練習です。「日周運動＝24時間で360度⇒1時間あたり15度」「年周運動＝12ヶ月で360度⇒1ヶ月あたり30度」を駆使しましょう。19回は「動物」は暗記事項が中心の単元です。夏期講習でも星座の動きを学習します。夏期講習中は「4日通塾＋1日休み」「4日通塾＋1日テスト」の2回繰り返しとなり、復習のサイクルが非常に慌ただしくなります。既習単元も含まれるとはいえ、かなりの忙しさですね。その日の復習を次の日の通塾までに済ませるサイクルを立てて実行しましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	星が「1時間に15度」「1ヶ月に30度」動く理由を説明できますか？						チェック
	解決策	「360度÷24時間＝15度」「360度÷12か月＝30度」ですね						□
	チェック2	星がどちらからどちらの方角に動くか、正しく説明できますか？						チェック
	解決策	地球の自転と公転により、「東から西」ですね						□
	チェック3	5種類のセキツイ動物を正しく分類できますか？						チェック
	解決策	区別は呼吸（肺orえら）、体温（変温or恒温）、増え方（卵生or胎生）などですね						□
	チェック4	ウミガメ、コウモリ、タツノオトシゴを正しく分類できますか？						チェック
	解決策	ウミガメは爬虫類、コウモリは哺乳類、タツノオトシゴは魚類です						□
	チェック5	夏期講習の学習サイクルを把握していますか？						チェック
	解決策	連日の通塾になり、復習のサイクルが崩れがちです。カレンダーを確認しておきましょう						□
四谷大塚	4年							
	社会							
学習内容	7月の学習内容 18回 高い土地の暮らし 19回 海とともにある暮らし 20回『総合（予習シリーズ4年㊤ 第16回～第19回）』 夏期講習 日本の特色ある地域・地図の見方・日本の国土 など							
家庭学習ポイント	18回「高い土地の暮らし」では長野県、野辺山原の高原野菜の栽培について学びます。「標高が高い＝気温が低い＝平地では栽培できない野菜が栽培できる」という利点をしっかり理解しておくことが大切です。気温が低い利点は気温が高いと（害虫などにより）うまく育たない野菜が栽培できることや、低地では栽培できない時期に栽培できることにあります。火山灰土でできた農地ならではの工夫もしっかり覚えておきましょう。19回「海とともにある暮らし」では、おもに日本人と海との関わり、漁業について学習します。各地ごとに特色ある漁業、そして全国の干潟の位置などを覚えておくことも必須です。夏期講習では、再度地理の重要事項を整理して学習し、9月からの地方別地理の基礎を積み上げていきます。夏期講習は他教科同様、復習のサイクルが非常に慌ただしくなるので注意が必要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	日本一長い海岸線を持つ砂浜を答えられますか？						チェック
	解決策	千葉県にある九十九里浜ですね						□
	チェック2	東北地方、三陸海岸がなぜ「三陸」であるか説明できますか？						チェック
	解決策	「青森県＝陸奥（むつ）、岩手県＝陸中、宮城県＝陸前」で「三陸」ですね						□
	チェック3	日本を取り囲んでいる4つの海の名前を正しく答えられますか？						チェック
	解決策	北にオホーツク海、西に日本海、南に東シナ海、そして東に太平洋ですね						□
	チェック4	大陸棚でプランクトンが豊富な理由を説明できますか？						チェック
	解決策	海底まで日光がとどくため、海藻が育ちやすいからですね						□
	チェック5	全国の主な干潟、湿地を答えられますか？						チェック
	解決策	北海道の釧路湿原、東京都と千葉県にまたがる三番瀬、愛知県の藤前干潟など覚えておきましょう						□